



昭和二十三年 公演

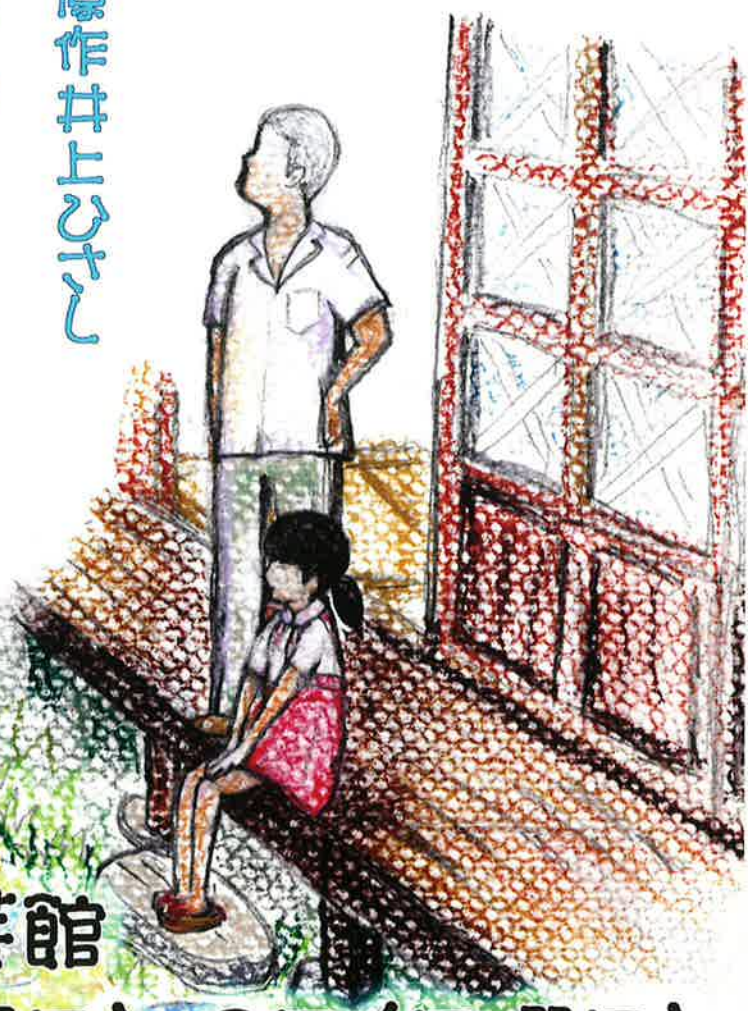
父へ誓ひなげ

原作 井上ひさし

演出 中村文平

演出 中村文平

敗戦から三年
原爆を乗り越えた娘の前に
父がかえってきた



八女福島文平座公演

八女伝統工芸館

2021年8月7日(土曜日)・8日(日曜日)

両日とも 11:00~12:30 14:00~15:30 公演

前売り・当日 大人2,000円 中学生以下1,000円

各公演定員30名とさせていただきます

問合せ 八女伝統工芸館0943-22-3131 文平座080-5377-2690

後援 八女市 八女市教育委員会

父と暮せば

今回の「父と暮せば」は、井上ひさしさんの原爆三部作のひとつで、名作と言われるお芝居です

昭和23年。戦争が終わって3年。

被爆しながらも生き延びた福吉美津江は、広島市の立図書館で働きながら孤独に生きています。

ある日、美津江の前にひょっこりと父があらわれます。原子爆弾で死んだはずの父。

娘を思い、生きる力を取り戻させようとする父の幽霊。

母を早くに亡くし、父の手で育てられた美津江。

父の出現で、美津江は幼い頃の自分に戻ります。そして父と暮らした思い出をたどりながら、

目の前で父が死んでいく姿を見なければならなかったあの8月に心の奥底に刻まれた思いへと

導かれ、生きる力を取り戻していきます。

これは、父の幽霊と娘が必死に心と向き合う、復活と再生の物語なのです。

今回は父・竹造と娘・美津江をダブルキャストで上演します。

ご来場をお待ちしております。



山辺隆人



中村文平



横尾彩奈



江崎久美子

場所 八女伝統工芸館

日時 8月7日(土曜日)・8月8日(日曜日)

上演両日とも 11:00~12:30・14:00~15:30

前売り・当日 大人2,000円・中学生以下1,000円

開場は上演30分前からです

お問合せは 八女伝統工芸館 0943-22-3131
八女福島文平座080-5377-2690
絵咲木0943-22-2634

後援
八女市
八女市教育委員会